

琉通ロジ総研◆人材育成研修

フィジカルネット実現へ

参加者が改善策プレゼン

【沖縄】沖縄県内の物流事業者や酒類飲料メーカー、システム開発、船舶代理店などが加盟する琉通ロジステイクス総合研究所

(新垣直人理事長)は13日、第2期ロジステイクス人材育成研修・第3回講座を開いた。フィジカルネットを学んだ。

菅教授を講師に招き、フィジカルネットの具現化に必要な条件や技術を学んだ。森氏は「フィジカルネットは共同輸送・保

をいま一度見直してほしい」と促した。この日は24年に加入した3人の新規会員も参加した。

(宮本晶子)

管の究極の姿であり、実現には『標準化』『デジタル化』が欠かせない」と指摘。倉庫・車・貨物のオーブンで即時的な情報共有やデータ形式、輸送、コンテナの標準化など、具現化に向けた環境整備や事例を解説した。

マに改善策のプレゼンテーションを行った。琉通ロジ総研は、琉球通運(喜納秀智社長、那覇市)会長の新垣理事長の呼び掛けで設立された、県内では珍しい物流系シンクタンク。人材育成研修(3カ月集中講座)は1期目が2023年10~12月、2期目は24年1~3月に実施された。今後、関係機関に「沖縄フィジカルネット」の実現を提案するなど地元企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を後押しし、物流業界の人材確保やイメージアップに貢献していく。

(上田慎二)